

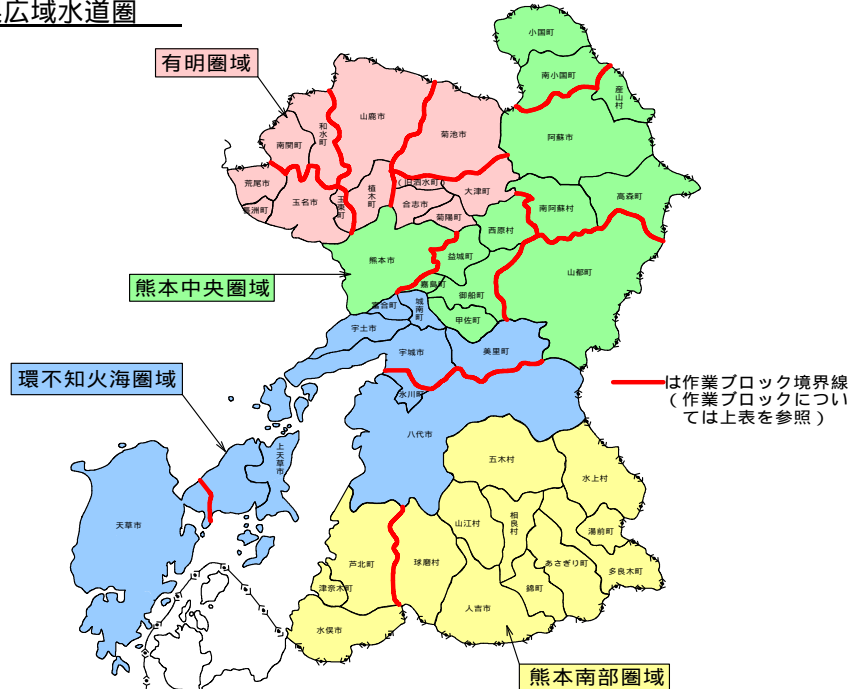
熊本県の水道圏

本県では、平成10年3月に熊本県水道整備基本構想を改定し、平成25年における水道普及率94.8%を目標に、市町村の水道整備計画の策定指導、上水道及び簡易水道の建設促進、水道普及啓発活動の強化等に積極的に取り組んでいます。

〔熊本県水道整備基本構想による水道圏の区分（平成18年3月31日現在）〕

広域圏名	作業ブロック	構成市町村名					
熊本県水道整備基本構想による圏域	有明圏域	荒尾	荒尾市	玉名市	玉東町	長洲町	
		南関	南関町	和水町			
		山鹿	山鹿市	植木町			
		菊池	菊池市（旧泗水町を除く）				
		大津	合志市	大津町	菊陽町	菊池市（旧泗水町）	
	計	5市7町					
	熊本中央圏域	熊本	熊本市				
		益城	御船町	嘉島町	益城町	甲佐町	西原村
		矢部	山都町				
		阿蘇	阿蘇市	高森町	産山村	南阿蘇村	
		小国	小国町	南小国町			
	計	2市8町3村					
	環不知火海圏域	宇土	宇土市	宇城市	上天草市		
			城南町	富合町	美里町		
		本渡	天草市	苓北町			
八代		八代市	氷川町				
計	5市5町						
熊本南部圏域	水俣	水俣市	芦北町	津奈木町			
	人吉	人吉市	錦町	多良木町	湯前町	あさぎり町	
		水上村	相良村	五木村	山江村	球磨村	
計	2市6町5村						
合計		14市26町8村					

熊本県広域水道圏



熊本県の水源の状況

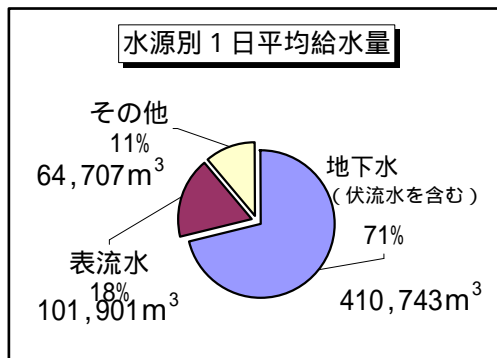
熊本県は4つの大きな河川が東西に貫流し、天草等一部地域を除き一般に水源には恵まれています。これらの地域には地下水も豊富で地表水と比較し良質な水を簡単に得られることから水道水の約70%が地下水で賄われています。(上水道については約80%)

この地下水も近年都市化によるかん養域の減少や急激な水需要の増加に伴う過剰揚水等で年々水位、水量ともに減少する傾向にあり、また一部の地域で水質悪化が懸念されるなど水質も低下傾向にあります。

昭和42年には明治27年以来73年ぶりという大干ばつに見舞われ、特に天草地方は深刻な飲料水不足に悩まされ、これを契機に天草地方の水源対策として九州本土から海底送水施設が建設されました。

しかし、平成6年には昭和42年を上回る規模の大干ばつが起こり、天草地方を中心に長期間時間給水に追い込まれました。そこで、新たな水源確保として県営八代工業用水の上水道への転用が図られました。

昭和42年や平成6年のような異常渇水では、溪流などの小河川や浅層地下水を水源とする簡易水道が給水制限の大きな影響を受けました。渇水に強い安定した給水を確保していくために、今後もより安定した水源の確保、並びに上水道給水区域の拡大や簡易水道の統合などの施設整備を積極的に進めていく必要があります。



その他は湧水と受水(専用水道は、自己水源のみ対象)。

水源ダム一覧

区分	ダム名称	所在地	有効貯水量 (千m³)	水道事業の取水可能水量 (m³/日)	ダムを水源とする水道事業・用水供給事業名
既設ダム	氷川ダム	八代市泉町	1,151	10,500	八代郡生活環境事務組合上水道事業 (10,500m³/日のうち3,000m³/日は大矢野町上水道事業へ供給)
	石打ダム	宇城市三角町	530	3,800	三角町上水道事業
	亀川ダム	天草市本渡町	1,000	8,000	本渡市上水道事業
	楠浦ダム	天草市本渡町	969	5,000	本渡市上水道事業
	第一ヤイラギダム	天草市牛深町	130	5,960	牛深市上水道事業
	第二ヤイラギダム	天草市牛深町	625		牛深市上水道事業
	姫の河内ダム	天草市牛深町	109	167	牛深市二浦簡易水道事業
	深海ダム	天草市牛深町	15	187	牛深市深海簡易水道事業
	浅海ダム	天草市牛深町	32	168	牛深市浅海山の浦簡易水道事業
	内の原ダム	天草市牛深町	121	432	牛深市深海簡易水道事業
	教良木ダム	上天草市 松島町	1,371	950	松島町上水道事業 (500m³/日) 倉岳町簡易水道事業 (450m³/日)
	上津浦ダム	天草市有明町	440	800	有明町上津浦簡易水道事業
	五和東部ダム	天草市五和町	720	500	五和町上水道事業
	都呂々ダム	苓北町	1,160	1,794	苓北町都呂々富岡簡易水道事業
の建設中ダム	姫戸ダム	上天草市 姫戸町	149	450	姫戸町簡易水道事業
	路木ダム	天草市河浦町	2,080	4,600	牛深市上水道事業 (3,000m³/日) 河浦町一町田簡易水道事業 (1,600m³/日)

所在地については平成18年4月1日現在

参考)

「熊本県の水道(平成17年3月31日現在)」(熊本県)

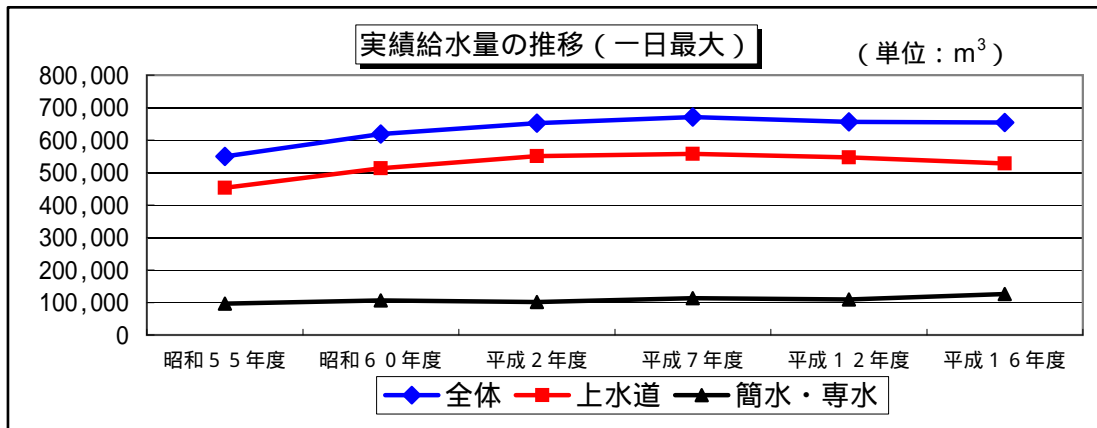
生活用水の利用動向

一日平均使用量は、給水量ベースで昭和55年度約439千立方メートルでしたが平成16年度には約560千立方メートルと約1.28倍に伸びています。下水道の普及や生活様式の変化に伴い、今後とも着実に増加していくものと考えられます。

また、一人一日平均使用量については、昭和55年度の約334リットルに対し、平成16年度は約358リットルと約1.07倍の伸びとなっています。

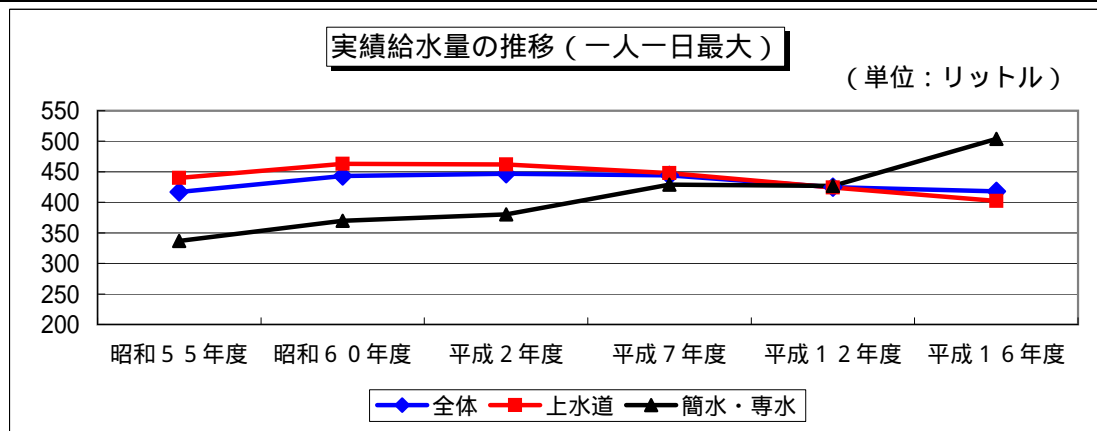
実績給水量の推移（一日最大・一日平均）（単位：m³）

		昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成16年度
一日最大	全体	550,018	619,162	652,229	670,753	655,881	654,169
	上水道	453,467	512,855	550,604	557,777	546,434	528,437
	簡水・専水	96,551	106,307	101,625	112,976	109,447	125,732
一日平均	全体	439,523	499,160	534,506	550,953	551,370	559,711
	上水道	358,877	409,490	449,810	462,285	459,978	451,619
	簡水・専水	80,646	89,670	84,696	88,668	91,392	108,092



実績給水量の推移（一人一日最大・一人一日平均）（単位：リットル）

		昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成16年度
一人一日最大	全体	417	443	447	444	425	418
	上水道	440	463	462	448	424	402
	簡水・専水	337	370	380	429	427	504
一人一日平均	全体	334	358	366	365	357	358
	上水道	348	370	377	371	357	344
	簡水・専水	282	312	317	337	356	433



参考)

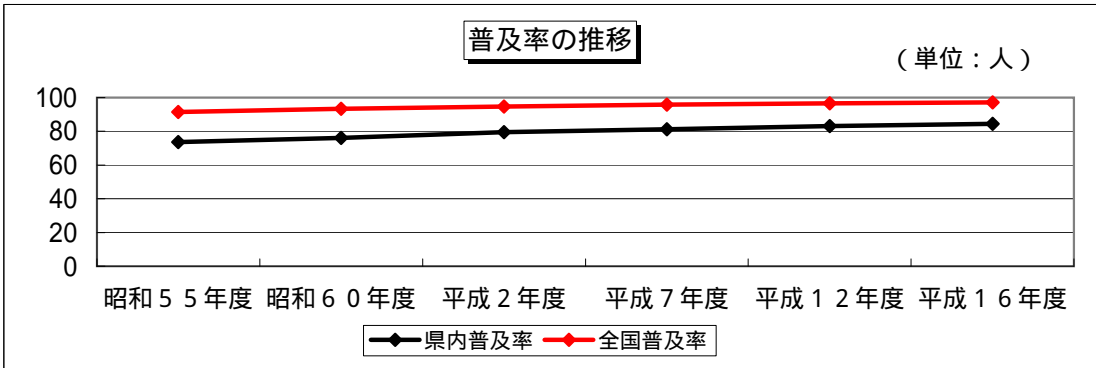
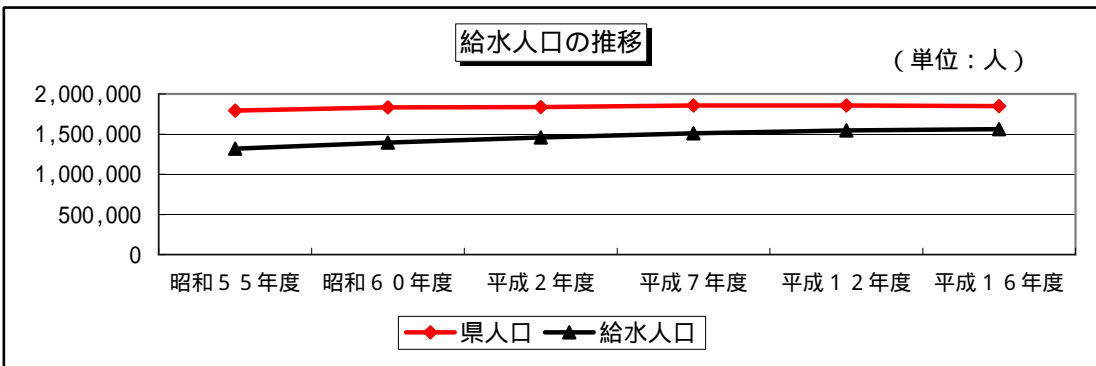
「熊本県の水道（平成17年3月31日現在）」（熊本県）

水道普及率の推移

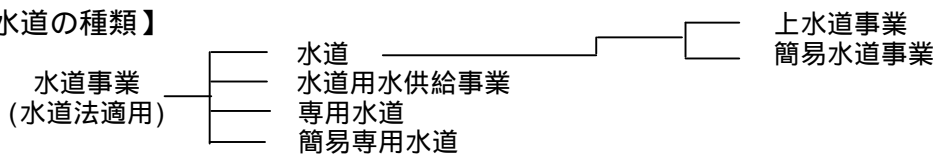
熊本県の水道普及率は、平成16年度末で84.5%となっておりますが、全国平均と比較すると12.4ポイント下回っており、今なお約29万人に及ぶ県民が未普及人口として残されております。

水道普及率を地域別に見ると、下図に示すとおり、菊池川、緑川、球磨川の流域沿いの市町村が低くなっており、これらの地域は地下水も豊富で、生活用水については現在も自家用井戸が広く利用されています。

年 度	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成16年度	
県人口 (人)	1,790,886	1,833,860	1,836,154	1,855,720	1,855,537	1,850,418	
給水人口	上水道	1,031,261	1,108,169	1,191,836	1,245,812	1,287,580	1,314,220
	簡易水道	243,829	244,351	229,955	231,072	227,892	221,231
	専用水道	42,451	42,803	37,904	32,285	28,519	28,119
	計	1,317,541	1,395,323	1,459,695	1,509,169	1,543,991	1,563,570
県内普及率 (%)	73.6	76.1	79.5	81.3	83.2	84.5	
全国普及率 (%)	91.5	93.3	94.7	95.8	96.6	97.1	



【水道の種類】



上水道事業：計画給水人口5,001人以上の水道施設

簡易水道事業：計画給水人口101人～5,000人以下の水道施設

水道用水供給事業：水道事業者によるその用水を供給する施設

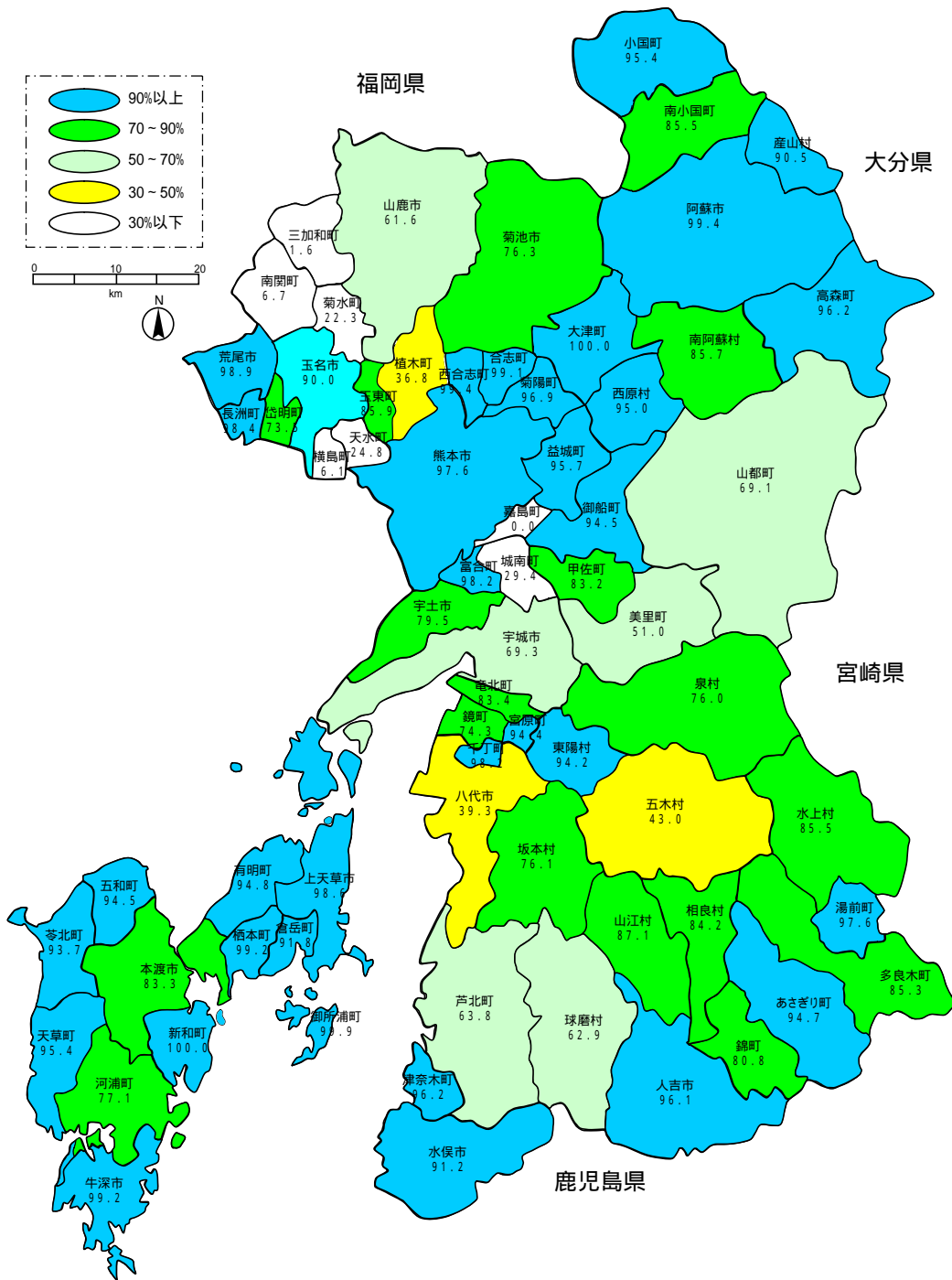
専用水道：寄宿舍、社宅等における自家用水道施設(居住人口101人以上)又は、人の生活に使用する水量が20m³/日を超える施設

簡易専用水道：水道事業から給水を受ける施設で、受水槽の有効容量が10m³を超える施設

参考)

「熊本県の水道(平成17年3月31日現在)」(熊本県)

市町村別水道普及状況 (平成17年3月31日現在) 県平均普及率84.5%



県内市町村についても、平成17年3月31日現在で掲載している。

熊本県の水道事業の概要 (平成17年3月31日現在)

水道施設名	事業等の数	給水人口 (人)	左の構成率 (%)	普及率 (%)	
水道用水供給事業	1	3市1町 (給水対象)	-	-	
上水道	40	1,314	84.1	71.0	
簡易水道	公営	244	193	12.3	10.5
	非公営	96	28	1.8	1.5
	計	340	221	14.1	12.0
専用水道	197	28	1.8	1.5	
計	578	1,563	100.0	84.5	